

# 令和5年 第5回米原市定例教育委員会

日 時：令和5年5月22日（月） 午後3時30分開会  
場 所：米原市役所 コンベンションホール

（出席者）

教 育 長：馬淵教育長  
教 育 委 員：中川委員、本庄委員、膽吹委員、法戸委員、井口委員  
教 育 部：口分田部長  
教 育 総 務 課：梶田課長  
学 校 教 育 課：北川課長  
ス ポ ー ツ 推 進 課：高木次長  
生 涯 学 習 課：平山課長  
函 書 館：梶川館長  
学 校 給 食 課：花部課長  
書 記：奥村、辻村

## 1 開 会

## 2 教育長挨拶

皆さんこんにちは。4月に文部科学省で幼児教育と小学校教育の接続の改善についての研修会が開かれました。そのときの資料を見てみますと、514人という数字と24万人という数字が書かれています。514人というのは、昨年1年間の子どもの自殺者数ということです。もう少し詳しく調べてみると、小学生が17人、中学生が143人、高校生が354人ということで、1980年の統計開始以来最高の数値になっているとのことです。滋賀県でも昨年度は数が多く7人と聞いております。私自身の経験で言いますと、私は戦後10年ぐらいで生まれ周りもみんな生きることに必死で、生きるという方向で世の中が動いていたと思いますが、その反対で、それも子どもが自殺というのは未だに信じられないところがあります。こういうふう子どもたちを追いやっているという現実をしっかりと把握しながら、できるだけ対応を学校教育としてやっていかないといけないと考えています。次の24万人の方ですが、これは令和3年度の小中学校の不登校生の数です。小学校が8万人、中学校が16万人で足して24万人の不登校生がいる。この現実も厳しいです。なぜこうなっているかというのは専門的に研究されている方もおられると思いますが、実際に子どもの姿を見ている教師あるいは、教育委員会がどう対応するかが非常に大きな課題であると思います。こういう数字を頭に置きながら、子どもに接して行きたいと考えております。この資料は、文部科学省の幼児教育課長が幼児教育と小学校の

繋がりについて話をされていまして、いわゆる幼児期に育つ非認知能力が非常に大事と言われております。目に見えるIQやテストの点数などの認知能力に対してそれ以外の能力で、氷山で例えるなら表に出ているのが認知能力で、それよりもっと大きな部分の非認知能力をしっかりと育てることが、非常に大事だと言われております。幼児期の子どもは遊びの中で、集中、熱中、没頭することによって自ら非認知能力を獲得していくということです。それは幼児期に培われるのですが、ほかの資料を調べますと学校教育でも非認知能力は伸びるということです。どういう場面で伸びるのかというと、2つありまして、子どもの興味や関心を引き出せる環境を作る。もう1つは、子どもが成功したら褒め、失敗しても責めない。この2つが書かれていて、それを実際の学校教育の中で生かしていくということが書かれています。米原市がやっている自己肯定感・自己有用感の育成というのはこれにかかるものであり学力を大きく下支えしている能力に着目して指導していくというのは非常に大切だと改めて感じたところです。最後に、前回の定例教育委員会で、コロナやインフルエンザによる学級閉鎖の話をしてしまいましたが、5月になってからは学級閉鎖をしておりません。学校は順調に進んでいて、ゴールデンウィークで人流が多くなってコロナが爆発的に増えるのではないかという危惧もありましたが、意外と落ち着いています。コロナにかかった児童生徒の報告も少しあるようですが、学校は5月の好天候の中、子どもたちは若葉が茂り、新緑になっていくような感じで伸び伸びと育っているのではないかと思います。現在、人事訪問を行っているところですので、次の定例教育委員会のときには実際に見た子どもたちの様子をお伝えしたいと思います。以上、最初の挨拶とします。

### 3 会議録承認

令和5年第4回定例会議事録

### 4 所属長報告

#### (1) 教育総務課長

報告事項につきましては、坂田小学校長寿命化改良建築工事について、4月25日に契約審査会にて審査を、5月8日に公告を行い、建築工事業者から技術提案、入札参加申請、質問等を受付しております。4月26日には令和5年度の政策課題3役協議を行いました。4月27日には校外活動等バス運行業務の入札を執行しました。5月11日には滋賀県都市教育委員会協議会の定期総会ならびに協議会が開催され、教育委員にも御出席いただきました。5月15日に契約審査会において米原小学校校舎照明改修工事等の審査を終えております。

今後の予定につきましては、6月8日に5月15日の契約審査会で審査いただきました案件の入札執行を行います。6月26日に第6回定例教育委員会を予定しています。議会につきましては、第2回定例会は御覧の日程で開催されます。

## (2) 学校教育課長

報告事項につきましては、4月25日に生徒指導担当者連絡協議会を開催しました。27日にはチャレンジウィーク担当者連絡協議会、28日には特別支援教育コーディネーター連絡協議会を行いました。5月11日には市立校園長会を行いました。今年度11月3日と4日に滋賀県人権教育研究大会を米原市で開催します。その主催者である滋賀県教育委員会と米原市現地実行委員会、そして滋賀県人権教育研究会の3団体による主催者会議が5月12日に開催されました。5月15日に1回目の人事訪問として3校行かせていただきました。

今後の予定につきましては、人事訪問をこの後順次回らせていただきます。5月23日に滋賀県人権教育研究大会米原大会の現地実行委員会を開催します。6月1日には校園長会議、そして6月2日には3人のALTの退任式を予定しています。

教育センターの報告事項につきましては、教育センターではICTに関する調査研究部会、自己肯定感・自己有用感育成調査研究部会、編集委員会を組織しており、合計28人の教員に委嘱しました。園から中学校まで非常に多くの先生方の協力を得て、研究のスタートを切ったところです。5月24日に滋賀県教育研究所連絡協議会がありますので参加します。初任者研修ですが、県の初任者研修とは別に市の初任者研修を計画しております。学校事務について、生徒指導について、人権教育について、救急救命についてということで、この時期に必要であろう内容を計画し、実施を予定しております。米原市学力状況調査について、5月29日から6月2日まで1週間かけて小学校4年生を対象に計画しております。

今後の予定につきましては、小学校3年生対象の学びっ子が22日から順次学校で開始されます。そして、チームまいばら先生の会ということで、6月9日に人権教育の研修を予定しております。6月19日は教頭研修を計画しております。

## (3) 生涯学習課長

報告事項につきましては、芸術展覧会関連としまして、無鑑査作品展を5月3日から10日にかけて開催します。これは、これまでの展覧会で賞を受賞された方については、今の展覧会の賞の対象外となることから、その方に特化した作品展ということで開催します。5月13日と14日には、第18回米原市芸術展覧会の受付をします。合計で184点の作品の受付をさせていただきました。人数は145人でした。

今後の予定につきましては、第18回米原市芸術展覧会を近江はにわ館で5月26日から6月3日までの1週間開催させていただきます。6月4日には鎌刃城まつりを実施する予定です。

あと前回の定例教育委員会で文化財の関係の御質問がありましたので、整理しました。まず、市の文化財の基準ですが、細かく明文化されたものではなくて「市の区域内にあるもののうち、市にとって重要なもの」これが1つのベースになっておりますが、細かな基準がないので文化財保護審議会に諮りながら、専門家の意見をいただいています。大きく3つのポイントがありまして、1つは希少性ということで市内でも例が

少なく価値があることです。それから時代性、年代が古いことです。それから地域性、米原市ならではの特征があることです。同類型のものが多く場合は指定の対象となりにくい傾向があります。例えば時代性でも、専門家からするとこの内容であれば江戸時代は対象にならず、奈良時代や平安時代のものが対象になるというジャンルのものもあります。希少性でもよく言われるのが仏像の関係ですと、滋賀県や京都府はものすごくたくさんあって、もちろん珍しくて価値があるのですが、地域的には類例が多くあるので、希少性は高くないとなる場合もあるということです。滋賀県では対象にならないものが他の地域では文化財の対象になるケースもあるという状況です。一方、国と県の文化財の基準ですが、県も細かな明文化された基準はなく、国は一定基準がございまして、国県において、文化的・学術的に価値があり、重要性、特異性が基準となるということです。国県のレベルになってきますと、例えば時代性で言えば、彫刻仏像の場合ですと鎌倉時代以前のもものが対象になることが多いということです、特殊性、珍しさもポイントになるようです。そのほかには、保存性ということで珍しいものがそのまま現存して残っているものが有力となり、破損の状態が著しいものは対象になりにくいようです。あとは明確に来歴が分かるもの、数量としてまとまっているものもポイントになってくるということです。もう1点、多和田の観音堂ですが、これについても県の文化財保護課に写真の中での判定はしていただきましたが、江戸時代のものではないかということで、現地で一度確認いただけるということです。それらを踏まえて、非常に珍しいもので今まで眠っていたものが出てきたので、文化財と言うよりはせっかくの機会なのでその価値を知ってみたいという御意向も含めて、市が間に入りながら、調整させていただきたいと思っております。

#### (4) 図書館長

報告事項につきまして、テーマに合わせて本を紹介しています特集展示につきまして、新たな工夫として近江図書館の利用者に山東図書館の本を見てもらおうと、山東図書館の本を使って近江図書館で展示するという取組をしています。次は逆に近江図書館の本を山東図書館で展示し、交互に紹介するコーナーを設置しています。山東図書館で牧野富太郎をテーマに展示しましたが、1日で貸出状態になり人気でした。

今後の予定は、5月26日から写真撮影ができるフォトブースを設置する予定です。

令和4年度年報について説明させていただきます。前半が統計、後半が事業の記録になっております。後半の事業の記録につきましては、これまで定例教育委員会で報告させていただいている内容が多いので、統計について説明させていただきます。実績概要は図書館サービスにかかる令和4年度の実績値をまとめたものです。1年間の個人貸出冊数は、山東図書館は153,307冊、近江図書館が139,645冊でした。令和3年度と比較しますと、県内の他の市町の図書館は減少しているところが多いのですが、米原市は101%と少し増やすことができました。ただ、米原市は令和2年度にコロナによる減少の影響が大きかったので、他の市町に比べてまだ戻ってきていないという現状があります。令和5年度は、コロナ禍で図書館の利用から遠ざかれた方や、普段図

書館を利用されない方に来ていただける工夫をしながら取り組んでいきます。

#### (5) スポーツ推進課長

報告事項につきまして、部活動の地域移行の関係の会議が開催されました。ニュースポーツ体験会につきましては、夫馬サロンと舟崎自治会から出前講座の依頼がありましたのでスポーツ推進委員に行っていただきました。平和堂HATOスタジアムオープン記念式典につきましては、以前彦根陸上競技場があった場所に、国スポ障スポの開閉会式も開催される陸上競技場として新たに整備されたものであり、市長と教育長に出席していただきました。

今後の予定につきましては、国スポ障スポ関係の会議と委託業務がございます。IBUKI CUP HOCKEY TOURNAMENT 2023 につきましては、例年開催している小中学生の大会で、北は富山県、南は山口県から 78 チームが参加されます。各地区スポーツ振興会の事業をそれぞれ開催していただきます。その他の市民スポーツ大会につきましても開催していただきます。全体的にコロナもようやく落ち着いてきましたので、コロナ禍以前のように多くの方に参加していただけるように、また、国スポ障スポに向けて機運を盛り上げる取組を行っていきたいと思っております。

#### (6) 学校給食課長

報告事項につきましては、4月12日から約2週間にわたりまして食に関する指導として小学校1年生を対象に給食の準備の指導を行っております。5月9日には東部給食センター、西部給食センターの給食主任会ということで、7月・8月の献立の検討を行っております。5月9日から2年生、5月15日から4年生を対象として食育の指導を行いました。

今後の予定につきましては、5月30日に東部給食センター、6月2日に西部給食センターの施設衛生検査を実施する予定です。食に関する指導については6月に3年生を対象に正しい箸の持ち方の指導、2年生を対象に朝ご飯を食べようという指導を行います。

### 5 所属長に対する質疑

A委員 : 今お聞きした内容と直接の関係はないですが、この間の新聞を見ていましたら、次のような記事を見つけました。文芸活動の全国大会出場者に激励金、米原市が交付制度を創設という記事です。その中で、市の担当者は市内の文化活動の振興に加え、身近に全国大会に出場するほどの人がいると広く市民に知ってもらおうきっかけにもしたいと話すという記事になっています。個人的には何年も前からこういうのがあるといいとこの場でもお話していただきましたので、良かったと思って高く評価して読ませていただきました。余談になりますが、これを読んでちょっと思い出したことがありました。春と秋に国の方でいろんな分野で長年にわたり貢

献いただいた方を表彰するという制度がありまして、以前、教育部門で表彰を受けられた方の祝賀会を行うということで、私が責任者になってやらせてもらいました。どうしてもセレモニーが硬い話になりますので、何か余興的なものがないかと考えて、当時の生涯学習課と相談させてもらい市の大正琴のグループに演奏を依頼したところ、8人ほどの方に3曲ほどサプライズで演奏していただきました。「私達はプロではないのでお金は要りません。」とおっしゃったのですが、後日、このままではいけないということで、皆さんが練習されるときにお礼に伺ってお話させてもらったら、「大正琴の発表の場が市の文化祭と、全国でそれぞれグループでの定期演奏会ぐらいしかなく、定期演奏会の観衆もほとんど仲間か家族ということで賑やかですけど身内ばかりで、それ以外の場で発表させてもらう機会がなかったため、今回はすごく緊張していろいろ悩みながら演奏した。」とおっしゃっていました。皆さん大変喜んでいただきましたとお礼させていただきました。最後の言葉が非常に印象的だったのですが、「私達も非常に楽しかったです。演奏はお役に立ちましたでしょうか。」とおっしゃいました。先ほど教育長の話の中にもありましたが、米原市の今の教育を進めていく上で非常に重要な1つの柱として、自己肯定感と自己有用感ということを中心に取り組んでもらっていますが、決して子どもだけの話ではなくて大人も自己肯定感と自己有用感を高めていくということは非常に大事なことなので、僭越な言い方すれば、大正琴のグループの皆さんの自己有用感として、少しでも役に立ったということを感じられたのかなと思います。最初の新聞記事に戻りまして、全国大会に行くというのは結果だと思いますが、スポーツだけではなく文化や芸術の面でも激励金の制度が皆さんの励みになって、しかも身近にこういう頑張っている人がいると知れて我々も非常に嬉しい気持ちになりますので、非常に良い制度を創設していただいたなと思います。それほど年間で該当者が出てこないかもしれませんが、米原市の文化の度合いを測る意味としてぜひ継続していただきたいと思います。

B委員 : 学校給食課にお尋ねしたいと思います。給食センターでは炊飯業務を委託されるようになりましたが、業務内容はどこまで委託されるのか、お米は市の方で用意されているのか、この2点を教えていただきたいと思います。

事務局 : 米飯委託につきましては、炊飯いただいて市内の小中学校、こども園へ配達していただいています。お米につきましては、米原市産ということでお願いしていますが、一部、湖北のお米を活用しているということです。

- B委員 : ご飯だけなのでしょうか。
- 事務局 : センターで調理しておりますおかず等の給食については、今までどおりセンターから配達しております。
- C委員 : 前回、いじめの報告の仕方についてお願いしたところ、対応していただきありがとうございます。指導の内容も分かりますし、保護者の思いなども書いていただけてほっとできる部分もあって良かったです。もう1つ、学校対応でいち早く抜かりなく対応することが大切だということを、学校自体で考えていただけるというのは非常に大事だと思います。放課後児童クラブの支援員との情報共有についてありましたが、支援員から学校の指導の方針を受けて、全員の支援員が共通理解のもと同じ指導をするというのが難しいという話を聞きまして、先生ではないですが、情報共有があると共通理解ができて学校とともに考えてもらえる機会になっていいのではと思いました。問題行動のエスケープというのはどういう行動でしょうか。今回から民間施設通所の記載がありますので、それについても説明していただきたいです。
- 事務局 : エスケープとは、授業中に無断で教室を抜けていくことです。例えば低学年でじっとしてられない子どもが抜けだしてしまうような事例があります。民間施設というのはフリースクールです。学校と連携をして出席扱いで対応しています。
- C委員 : 図書館の年報で貸出人数と書いてあるのですが、小中高大学生などの子どもたちがどれくらい来館しているのでしょうか。私が学校で図書委員会を担当していた時に、学校の図書室に何人くらい子どもたちが来るのかデータを取っていたこともあります。そういったデータはあるのでしょうか。
- 事務局 : 正確な子どもの来館者数は出せないのですが、感覚的にはコロナ禍で少し減ってしまったので、増やしていけるように取組をしたいと思っております。
- C委員 : 子どもたちの貸出人数が分かるといいと思いますので、検討してみてください。
- D委員 : 文化財の基準を記載していただきましてありがとうございます。地

元関係者と話したいと思います。それと今年、孫が3年生になりまして、初めての家庭訪問で、親も初めてなので緊張してどういう感じなのだろうかと心配して先輩たちにいろいろ聞いていたら、いい意味で全然違って、家庭での自分の子どもの姿とは違う学校での思いがけない姿を聞かせていただいて良かったと喜んでおります。家庭訪問は4年生も初めてですよね。子どもたちも初めてだということは、先生もコロナ禍に採用された方は初めてということで、毎年あれば色々見たり聞いたり教えてもらったりできたことが4年間飛んでいるので、大変なこともあるだろうなと思っております。同じように地域の行事でも3、4年飛んでおりまして、どうやってやるのだったかということが起きております。体育祭など生徒たちが主体になってやっていくことは、特に中学生はいきなりです。大体高学年が中心となって活動していくのにいきなりやらないといけないということが起きてくるので、今までやってきたことがなくならないように見守っていただきたいと思います。それとこの間、孫がマスクを忘れたと帰ってきました。多和田はバス通学なのでマスクをすることになっているのではないかと思います。まだ学校の行事の中で、マスクをして授業を受けることはあるのでしょうか。例えば給食や音楽の時間は声を出すのでそういうことがあるかと思いますが実際はどうでしょうか。

事務局 : マスクにつきましては、5月8日から基本的に個人の判断がベースですが、今おっしゃったようにバス通学の子らは密になりますので、できるだけマスクをしてもらうということで話しています。その他コロナ前からマスクをする場面がいくつかありまして、給食の準備のときなどは引き続きマスクをしていきます。できるだけ密にならないところでマスクをする場面というのは、もうほとんど教育活動にはないと思います。ただ、子どもたちの自主的な判断によってマスクをするという場面はあるという認識をしています。

E委員 : マスクの話がありましたが、4月から1年生の子どもの登校について行っているのですが、3年間マスクをつけていたのでまだマスクをつけて登校している子どもの姿をよく見ます。外していい状況になりましたが、慣れてしまっているのかマスクをしている子も多いなという感じはします。これから暑くなるので外していくかなと思います。いじめが報告されているのですが、大人も悩みがあるとき自分1人で解決するのはなかなか大変で、話を聞いてもらえる存在がいると心が楽になるのと一緒で、子ども自身が話しやすい大人や先生という存在がすごく大事だと思います。そういう相手に子どもが相談して色んなことが見えてくる、



それに対して保護者も対応していく。子どもはすごく正直に色々話してしまうので色んなトラブルも起きます。その中で失敗したことを子どもも学んでいく、親も学んでいくというのが何よりも大事なかなと思いますので、いろいろな報告が上がってくるのはすごく大切だと思います。自分の周りも含めて保護者の目線で色々見ていきたいと思います。

## 6 議案審議

報告第2号 公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団の決算および事業計画に関する書類の提出について 【スポーツ推進課】

(内容) 地方自治法第243条の3第2項の規定に基づき、公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団の経営状況を説明する書類を提出するものです。

### 一 以下、議案に基づき説明 一

A委員 : この書類自体の承認や検討は議会なのか指定管理の関係なのか、どの場で精査したり意見交換したりするのでしょうか。

事務局 : 6月の議会に報告として提出します。米原市が出資している関係で、議会に法人の経営状況を提出しなければならないとなっていますので、本日お諮りさせていただいて、その後、議会に提出します。

A委員 : 議会で詳しく精査されるということですか。

事務局 : 議会で全員協議会などもありますので、そこで質問などがあれば説明する形になります。

C委員 : できれば当日の配布ではなく、前もって配布していただいてゆっくり見せていただきたいと思います。

事務局 : 大変申し訳ございません。本来でしたら御指摘のとおり事前に配布させていただくものですが、公益財団法人伊吹山麓まいばらスポーツ文化振興事業団からこの書類を提出していただいていますので、監査等にぎりぎりまで時間がかかったということで配布に間に合いませんでした。極力配布できるように頑張っていたのですが最終的には間に合わず、本日配布ということになりました。

原案承認

議案第 17 号 令和 5 年度米原市一般会計補正予算(第 3 号)について【スポーツ推進課】  
(内容) 令和 5 年度米原市一般会計補正予算(第 3 号)のうち教育委員会所掌の補正予算を令和 5 年米原市議会第 2 回定例会に提案することについて教育委員会の意見を求めるものです。

【スポーツ推進課】 伊吹第 2 グラウンド防球フェンス設置に係る助成金の内示に伴い歳入予算 8,126 千円を増額するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 18 号 後援等名義使用承認(後援)について 【学校教育課】  
○ヒューマンアカデミーロボット教室 ロボット製作無料体験会

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 19 号 後援等名義使用承認(後援)について 【学校教育課】  
○朝日新聞 EduA 新聞活用講座「親子で作文・スクラップ教室」

— 以下、議案に基づき説明 —

A 委員 : 内容については結構ですが、5 月 8 日から募集が始まっているので後援名義を途中から入れるのであれば良いですが、すでに入った状態ではないかと思いました。

事務局 : まだ申請に対する返事をしておりませんので、どういう形でチラシが配布されているか確認させていただきます。

教育長 : 後援名義で名前が出てないか確認してください。

原案承認

議案第 20 号 米原市社会教育委員の委嘱について 【生涯学習課】  
(内容) 米原市社会教育委員を別紙のとおり委嘱したいので、社会教育法第 15 条第 1 項および米原市社会教育委員条例第 2 条の規定により、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 21 号 米原市学びあいステーション運営審議会委員の委嘱について 【生涯学習課】

(内容) 米原市学びあいステーション運営審議会委員を別紙のとおり委嘱したいので、米原市附属機関設置条例第 4 条第 2 項の規定により、この案を提出する者です。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 22 号 米原市図書館協議会委員の任命について 【図書館】

(内容) 米原市図書館協議会委員を別紙のとおり任命したいので、米原市立図書館条例第 14 条の規定により、この議案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

議案第 23 号 米原市立学校給食運営委員会委員の委嘱および任命について 【学校給食課】

(内容) 米原市立学校給食運営委員会委員を別紙のとおり委嘱、任命したいので、この案を提出するものです。

— 以下、議案に基づき説明 —

原案承認

## 7 報告事項

(1) 米原市人権教育推進員の委嘱について (追加報告分) 【生涯学習課】

(内容)

米原市人権教育推進員の委嘱について報告するものです。推進員の任期については、令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までとなっております。

(2) 後援等名義使用承認 (後援) について

○令和 5 年度 芝居小屋「長栄座」夏のフェスティバル 【生涯学習課】

○令和 5 年度 滋賀県次世代創造発信事業 古典芸能キッズワークショップ& 箏曲ジュニア・アンサンブル成果発表会 【生涯学習課】

○令和 5 年度 滋賀県次世代育成ユースシアター事業 邦楽ミュージカル 【生涯学習課】

## 8 質疑応答

C 委員 : 学校についても同様ですが、最近園の虐待などについて話題になることが多いので、自然災害を含めた防災や危機管理などについて、園とし

ての計画があれば園訪問の際に教えていただきたいです。

教育長 : 学校については教育委員会訪問の際に言及してもらえるように、各学校に学校教育課長の方からお願いしてください。園についても保育幼稚園課に園訪問の際に言及してもらえるように連絡をお願いします。

## 9 その他

### (1) 令和5年第6回定例教育委員会の開催について

日 時 : 令和5年6月26日(月) 午後3時30分から

場 所 : 米原市役所 コンベンションホール

### (2) 令和5年第7回定例教育委員会の開催について

日 時 : 令和5年7月27日(木) 開催時間調整中

場 所 : 米原市役所 コンベンションホール

## 10 閉 会

以上をもって令和5年第5回定例教育委員会を午後4時50分に終了した。